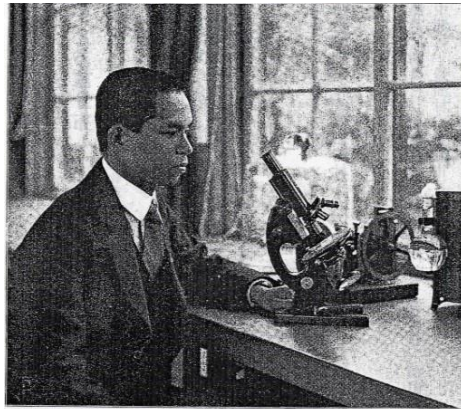


佐藤清明資料保存会会報

No.1 1



博物学者 佐藤清明 (1905-1998)

佐藤清明資料保存会
里庄町立図書館

2023.11.30

会報第11号 もくじ

| | | | |
|---|---------------|-------|----|
| 1. あいさつ | 佐藤清明資料保存会副副会長 | 杉本 秀樹 | 1 |
| 2. 巻頭論考「年譜による、佐藤清明の情報収集手段と活動記録」 | | 杉井 睦保 | 2 |
| 3. 図書館事業 「せいめいさんの菊桜を『キーホルダー』に」 | | | 10 |
| 4. 清明を読む会 (第1回・第2回) | | | 11 |
| 5. 里庄のせいめいさん展 | | | 12 |
| ① せいめいさんに宛てた「牧野富太郎からの年賀状」(昭和6・8・10・12年) | | | |
| ② 昭和8年発行の繪ハガキ「里見八景」の風景を92年の年を経た今に見る | | | |
| ③ 1959年撮影の調査現場を今に見る「本山寺・甌穴・植物」 | | | |
| ④ 年譜「せいめいさんの情報収集手段と調査項目」 | | | |
| 5. 事業報告「佐藤清明ゆかりの‘菊桜’を次代に残すためのPR活動」 | | 小野 礼子 | 15 |
| 6. 山陽新聞記事から「菊桜 岡山と皇室を結ぶ」 | | | 17 |
| 7. 編集後記 | | | 17 |

表紙写真：第六高等学校理科教室助手時代の佐藤清明（20代）

あいさつ

大変暑い夏が過ぎ去り、やっとな秋の気配を感じる季節となり、少しずつ過ごしやすさを感じることができるようになりました。しかし、一方では新型コロナウイルス感染症がまだまだ収束していない状況でありますし、インフルエンザの流行が気になる状況でもあります。

このような状況ではありますが、佐藤清明資料保存会の皆様方におかれましては、公私ともにご多用の中でも、積極的かつ意欲的に活動を推進していただき、心より感謝申し上げます。

令和5年度においては、4月に里庄町内の小学校5、6年生や中学生全員、及び幼稚園、小中学校の教職員などに、菊桜育成保存会作成の「佐藤清明ゆかりの菊桜」の冊子や、リーフレットを寄贈していただきました。

また、5月には里庄東小学校の要望により、生宗脩一氏による菊桜の出前授業が、4年生を対象に行われました。菊桜の成長の過程や、佐藤清明先生について知ることが、この理科の授業のめあてでした。

8月には山陽新聞で、佐藤清明資料保存会の活動が紹介されました。私は岡山県立美術館特別展に並ぶ、池田厚子様ゆかりのボンボニエール(小さな菓子器)を見に行きました。扇形の蓋に刻まれた「お印」の菊桜に見惚れながら、会員皆様方の平素からのご尽力に、思いを馳せていました。

保存会の活動は、菊桜が生育している新たな場所の発見や、佐藤清明先生の情報収集に関わる資料の記録作成、清明を読む会の開催、菊桜の保存・育成など、多岐にわたる活動を実施していただき、心から感謝しています。

佐藤清明資料保存会として、これからもさらに調査や研究を進めていくことは、大変なご苦勞を伴うことと思います。会員の皆様や関係の皆様方と共に、今後もすばらしい先人の業績を顕彰し、後世にきちんと伝えていくことが大切であると考えています。会員の皆様、ご支援やご指導をいただいております関係の皆様、そして町民の皆様方に、今後とも温かいご支援やご協力を、心よりお願い申し上げます。

令和5年11月

佐藤清明資料保存会

副会長 杉本 秀樹

巻頭論考

年譜による、佐藤清明の情報収集手段と活動記録

杉井睦保

1. はじめに

佐藤家に残された資料は現在、佐藤清明資料保存会によりすべて写真に収められ、実物資料を見なくても、資料リストを元にしてパソコンで閲覧できる。

年譜とは、佐藤清明一代の履歴を年代順に記した記録である。資料（写真）を調べて、「清明が○年○月○日に□△した」ことが分かる「事柄」があれば書き出し、年代順に並べる。年月日は、書籍、新聞などの印刷物（発行日）、手紙（消印）、写真（撮影日）等として把握できる。又写真の内容から類推される日付も根拠となる。

これまでに読み解いた年譜約 1100 件によって確認できた佐藤の活動状況を、以下に記す。

2. 情報収集の手段

情報とは「判断を下したり行動を起こしたりするために必要な知識」と定義される。佐藤は、方言、民俗学、妖怪、博物学（植物、動物、鉱物）、天然記念物・文化財保護、教育など多分野で活動したが、必要な知識をどのようにして手に入れたのだろうか。年譜に現れた佐藤の行動から、入手の手段と思しき事柄（出来事）を選び、表 1（表の上段に並んだ情報収集手段 A～I）の通りとした。これらの行動によってどのような知識が得られたかは定かでないが、全体の活動の間に相互作用が働いたことは考えられる。

3. 年譜の分析

情報収集の手段別の件数を、年齢別（5歳刻み）に分けて集計した結果について、表 1 に示す。内容と活動の年代は次の通り。

A 1～7：著書抜刷（贈呈される）、新聞、会報、雑誌、手紙、地図など（詳細は表 2 を参照）。10～80代。

B：岡山県国宝重要美術品史蹟名勝天然記念物調査委員会委員（1948.7）、岡山県自然保護会専門委員（1972.7）などの公職につく。40～80代。

C：岡山博物同好会（後に岡山県自然愛護協会に変更）。自然観察、文化財見学、接木実習（松、菊桜）、自然保護士研修などが行われる。45～70代。

E：教員生活（教諭着任、生徒の入学式、同窓会、文化祭）。生涯続く。

F：野外調査。採集動員が初。25～70代まで、多くの人と交流。

G1～3：写真（県内、県外、人物）。環境や経年変化にさらされる文化財の姿を記録。40～65代。

H：旅行。名古屋（1961.3）、滋賀・富山・新潟（1964.8）、千葉（1967.6）、宮城（1967.8）、愛知（1970.9）、国内行脚（1964-1972）。55～65代。

I：著作出版。自著を発信すると、新しい情報が入りやすくなる。20～35代に集中し、戦後一時途絶える。その後45～75代。

4. 今後の課題

① 年譜件数が少ない箇所について、予定した調査が未完であれば完成させる。あるべき活動が洩れていれば追加する。なお、今回の調査が、佐藤家に残された資料が対象なので、外部の資料は含まれていない。→以下③項で対応

② 佐藤清明宛に贈られた著書などの中身を調査し、交友関係を確認する。

③ 佐藤家以外の所にあった資料の登録：以下のものは、佐藤家資料に準じて収集・登録・保管する。

- ・清心学園から入手した資料（学徒動員など佐藤清明が記したもの、紀要等）
- ・その他の場所で保管されている佐藤清明に関する資料

表1 情報収集の手段と活動状況 単位：資料件数

| 情報収集の手段 | A 1 著書抜刷 | A 2 新聞 | A 3 会報 | A 4 雑誌 | A 5 手紙 | A 6 地図 | A 7 年表 | B 審議委員 | C 同好会運営 | D 研修会 | E 教員生活 | F 野外調査 | G 1 写真(県内) | G 2 写真(県外) | G 3 写真(人物) | H 旅行 | I 著作出版 | X その他 | 総計 | |
|---------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|-------|--------|--------|------------|------------|------------|------|--------|-------|----|------|
| 西暦年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1915- | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 1920- | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | 2 |
| 1925- | 1 | | | | | 1 | | | | | 3 | | | | | | 5 | | | 10 |
| 1930- | | | | 1 | | | | | | | | 2 | | | | | 39 | 3 | | 45 |
| 1935- | 1 | | | 1 | 2 | | | | | | 2 | | | | | | 13 | | | 19 |
| 1940- | 2 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | 4 |
| 1945- | 7 | | 1 | 1 | 3 | | | 2 | | 1 | | 25 | 1 | | | | | 1 | | 42 |
| 1950- | 5 | 1 | 2 | | | | | 1 | 1 | | 2 | 104 | 109 | 3 | 4 | | 5 | | | 237 |
| 1955- | 7 | 3 | 2 | | | | | | | | 15 | 42 | 259 | 13 | 2 | | 5 | 1 | | 349 |
| 1960- | 4 | | 2 | 1 | | | | | | 1 | 3 | 7 | 30 | 22 | 4 | 5 | 7 | | | 86 |
| 1965- | 14 | | 5 | | 1 | 1 | | 2 | 3 | | 3 | 20 | 29 | 7 | 2 | 2 | 6 | | | 95 |
| 1970- | 9 | | 7 | 1 | 2 | | | 3 | 15 | | | 9 | 24 | | | 1 | 5 | 1 | | 77 |
| 1975- | 8 | 2 | 2 | 1 | 2 | 1 | | 1 | 19 | | 1 | 5 | | | | | 8 | 1 | | 51 |
| 1980- | 6 | 1 | | 2 | 8 | | | 9 | | 2 | 1 | | | | | | 4 | 1 | | 34 |
| 1985- | 3 | | | | 1 | | | 2 | | | 1 | | | | | | | | | 7 |
| 年代不明 | 4 | | | 4 | | 2 | | 1 | | | | | | | | | | | 3 | 14 |
| 総計 | 71 | 7 | 21 | 12 | 19 | 5 | 1 | 21 | 38 | 4 | 33 | 214 | 452 | 45 | 12 | 8 | 101 | 9 | | 1073 |

以下は「Xその他」
の説明
(数字は年齢)

- 17金光中学卒業
- 六高生物学助手
- 25柳田国男、牧野富太郎に出会う
- 26南方熊楠に出会う
- 28島田ミヤコと結婚
- 40岡山空襲で被災
終戦
- 53岡山大学講師
農学部
- 65医学部
- 70薬学部
- 75叙勲

(注) 太線枠は、岡山文庫『博物学者 佐藤清明の世界』(2021)のコラムにある「なんでも再利用知恵袋」が作成されたとみられる年代を示す。

表2 情報収集手段Aの詳細

6 - 1

| 年齢 | 西暦 | 事柄 | 分野 | 情報収集の手段 |
|----|------------|--|-----|---------|
| | 1859 | 横浜開港見分図(安政6春3月1859) | | A6地図 |
| | 1910/10/1 | 朝鮮交通全図(大阪毎日新聞社明治43.10.1 ; 1910) | | A6地図 |
| 14 | 1919 | 室町期～江戸初期までの茶祖年代表。 陶守三思郎 (医師 日本陶磁協会1919-32に活動) | 茶道 | A7年表 |
| 20 | 1925/1/13 | 寄生虫関連(片山病)収集資料。寄生虫のスケッチ、新聞切り抜き、日新医学定期増刊(1922.9)、日本に於ける肝吸虫の研究(小林晴治郎 古稀祝賀記念会講演1954.6)、日本応用動物昆虫学会誌(1970.3)。第6高等学校生物学教師清明苑(消印T14.1.13) | 寄生虫 | A1 著書抜刷 |
| 23 | 1929/2/2 | 日本列島の動物層の来由(カラー地図)By K.Sato(1929)のサイン | 動物 | A6地図 |
| 26 | 1931 | 岡山と人(東京岡山社1931) | | A4雑誌 |
| 30 | 1936/4/3 | 地方妖怪調査票、方言調査票を島根県周吉郡西郷町 池田徳長 返信 | 妖怪 | A5手紙 |
| 30 | 1936/4/30 | 地方妖怪調査票、方言調査票を三重県尾鷲町 多湖助太郎 返信 | 妖怪 | A5手紙 |
| 31 | 1937/4/1 | 旅の国(創刊号) | | A4雑誌 |
| 32 | 1938.1 | 大内義郎 昆虫文献6件(上海自然科学研究所彙集、他)。英語中国語1938.1他 | 昆虫 | A1 著書抜刷 |
| 35 | 1940 | 両手片足を失った中山亀太郎君と其母堂(泥谷良太郎 編) | | A1 著書抜刷 |
| 37 | 1943.3 | 著者不明 岡山県立農事試験場臨時報告第43報別刷4冊(1943.3)「薄荷を害するゾウムシに関する研究」「大豆葉蜂に関する研究」「薄荷害虫としてウリハムシモドキに関する研究」「栗樹に寄生するXylococcusに関する研究」 | 昆虫 | A1 著書抜刷 |
| 41 | 1946/5/23 | GHQ天然資源局 シエンク 長官貝標本のやりとり | 貝類 | A5手紙 |
| 42 | 1947 | 深谷昌次 (1913-1974)論文(昆虫関係)。「二化螟虫の発生予察に関する基礎的研究4」農学研究(大原農業研究所1947)、「Strains of the Rice Borer in Japan」,「コクゾウ及びココクゾウに及ぼすDDTの効果」 松蟲第2号 | 昆虫 | A1 著書抜刷 |
| 42 | 1948/2/15 | 吉備郡足守町 間野幹男 (岡山博物趣味の会)「本春に復員を得まして只今は家業に」と近況。昆虫採集、珍蝶「ヒサマツミドリシジミ」 | 昆虫 | A5手紙 |
| 42 | 1947.9 | 手紙(倉敷の淡水海綿採集報告(1947.9.29 実施)。 小坂弘 「成羽川ダム周辺の植物」(高梁川1972.10抜刷) | 植物 | A1 著書抜刷 |
| 44 | 1949/9/1 | 難波早苗 「雑草図譜」(1949.9.1)、「備中における農耕地雑草の種類と推移に関する研究」(同.12)、「岡山県新見市草間地区自然休養村の植生と特殊植物の利用について」(1950.3) | 植物 | A1 著書抜刷 |
| 44 | 1949.9 | 岡山県観光協会雑誌「岡山観光」特集号(1949.9月)、岡山県下観光地帯観光市町観光資源の選定(一覧表) | 観光 | A4雑誌 |
| 44 | 1950/3/10 | 岡秀俊 編岡山方言(江戸時代上)岡山民俗学会 | 民俗 | A1 著書抜刷 |
| 44 | 1950/3/10 | 冊子裏面に 宮本常一 からの音信(村落組合、土地制度、荒神、地神などの情報交換。12月から瀬戸内漁村調査中、そのうち岡山県の海岸も歩く由) | 民俗 | A5手紙 |
| 44 | 1949/10/30 | 藤井猛 小学校に魅けて開かれた啓蒙所 窪田次郎功績(1949.10.30) | 教育 | A1 著書抜刷 |
| 44 | 1950/1/20 | 金光学園高校生物学教室 出宮馬夫 : 杜陵談叢第3弾 | 生物 | A1 著書抜刷 |

表2 情報収集手段Aの詳細

6 - 2

| 年齢西暦 | 事柄 | 分野 | 情報収集の手段 |
|---------------|--|-----|---------|
| 44 1950.1 | 三浦秀有 ：牧石中学校社会学級講座 美作地方の荒神信仰調査 岡山民俗第2号田植え特集 | 民俗 | A3会報 |
| 44 1950.3 | 小林純 (大原農業研究所)：本邦河川の科学的研究 秋田県内主要 河川の水質に就て | | A1著書抜刷 |
| 45 1950 | 特殊研究第1集1950(岡山県立落合高等学校) 詳細不明。 | | A1著書抜刷 |
| 46 1951 | 秀敬 「基盤岩類」「岡山県西部、井原市付近の弱変性古生層」、 「笠岡福山地方における基盤岩類の地質構造と圧碎花崗岩類の産 状」、「広島大学地学研究報告第1号」(1951)、「中央構造線の起 源」(1974.9)。広島大学総合科学部教授 | 地質 | A1著書抜刷 |
| 46 1951 | 笠原安夫 論文3件：「本邦雑草の種類及地理的分布の研究」第3報 (畑地雑草)、第4報(水田雑草)、「草と作物と除草剤」 | 植物 | A1著書抜刷 |
| 46 1952.3 | 宇野確雄 「お葉付イチヨウの研究」、「科学クラブ会報」(倉敷 青陵高校)1952.3 | 植物 | A3会報 |
| 46 1952/5/5 | 原三正 ・ 石坂堅壮 小伝(倉子城第3号抜刷)、体積研究の意義 (1952.5.5) 右利きと左利き(1954) 性神風景を推す | 医学 | A1著書抜刷 |
| 47 1952 | 金井寅之助 (松蔭女子大学)「奈良坊目拙解*1と平城坊目考*2」 (藝林第3巻)。*1、*2:江戸時代の奈良の郷土史家、外科医、俳人 である 村井古道 (1681-1749)の作品 | 郷土史 | A1著書抜刷 |
| 47 1952 | 桂又三郎 ：古備前 陶瓷1号(1952) | 文化財 | A3会報 |
| 47 1953/2/25 | 岡長平 執筆/鐘撞(かねつき)堂、京橋界限、岡山の方言 (1953.2.25)、岡山風土記(1961.5.22) | 民俗 | A2新聞 |
| 50 1955/12/20 | 上野俊 Studies on the Japanese Trechiane(IV)(Coleoptera Harpalidae)メクラチビゴムシ | 動物 | A1著書抜刷 |
| 50 1956/4/21 | 岡大医学部新聞(1956.4)文化代表団渡中足ぶみ、論説・新入生の諸 君へ | | A2新聞 |
| 51 1956 | 吉井良三 「Monographie zur hohlencollembole Japans」 (RIOZO YOSII) KYOTO 1956。昆虫学者(1914.2.14- 1999.1.28)。京都大学教養部生物学教室 | 昆虫 | A1著書抜刷 |
| 51 1956 | 畠田和一 ：岡山県産陸貝類目録(1956) | 貝類 | A1著書抜刷 |
| 51 1957/1/1 | 畑野房子 (私立女子高校地学科教師)：UFOの研究報告「UFOか？ 未知の自然現象か？岡山市上空の目撃情報1957.11」。日本最初 のUFO研究団体「日本空飛ぶ円盤研究会」(会長荒井欣一)の機関 紙「宇宙機」のサイトに現在も掲載。 | | A3会報 |
| 52 1957/9/13 | マミズクラゲ(旭湖)の新聞記事 他1958.9.4、1958.10.5 | 動物 | A2新聞 |
| 53 1958 | 大賀一郎 「“蓮”の研究」「妙蓮の移動と武蔵野妙蓮」(1958)。理 学博士(生没1883.4.28-1965.6.15) | 植物 | A1著書抜刷 |
| 53 1958 | 大賀一郎 A Study of the Ancient but still Viable Fruit of the Indian Loutus found in the Past Bed near Pulantien ,South Manchuria(ICHIRO OHGA) | 植物 | A1著書抜刷 |
| 53 1958.9 | 報公会(1958.9月第28号)の記事2件、 飯沼一省 「飛龍の石楠 花」、 山崎犀二 「人間の最後」注)お茶の水女子大学法制・経済 担当、著書「日本教育行政法」(1937)。 | 教育 | A3会報 |
| 54 1960/2/7 | 「文学のふるさと」山陽新聞記事 林芙美子、正宗白鳥等 | 文学 | A2新聞 |

表2 情報収集手段Aの詳細

| 年齢 | 西暦 | 事柄 | 分野 | 情報収集の手段 |
|----|-----------|--|-------|---------|
| 54 | 1959/6/20 | 船越喜平次文化8年殿田村一件略日記(船井史談会1929)京都市船井郡。翻刻版 | 郷土史 | A1著書抜刷 |
| 54 | 1959 | 安江安宣・河田和雄「ヤサイゾウムシの発育に及ぼす温湿度の影響」(農学研究別刷、岡山大学農業生物研究所) | 昆虫 | A1著書抜刷 |
| 55 | 1960.12 | 森川国安:愛媛大学紀要生物学(1960.12)を入手「別刷がないので、この本が手に入りやすく、遅くなりました」添書き。 | 生物 | A1著書抜刷 |
| 55 | 1960 | 森川国安(同上英文1960.12) | 生物 | A1著書抜刷 |
| 55 | 1960 | 花田一重:足で書く日本風土記1,2,3(1960-3)、日本史のアウトライン、日本年号表、浅口郡文学者年表、鴨方町の手〇写本 写真9枚 | 郷土史 | A1著書抜刷 |
| 56 | 1962/1/1 | 博物温古会(1962.2.15発足)に入会。発起人安江安宣他9名、顧問上野益三、柳田国男、矢野宗幹(1884-1970昆虫学者)。蟲塚創刊(1962)、同2号(1963)、博物温古No.1-5(1962-1964)、入会の勧め、1962年度分会費領収書300円 | 博物 | A3会報 |
| 56 | 1961 | 金光図書館報「土」S36(第14号) | | A3会報 |
| 58 | 1963.7 | 森川国安:渭南海岸(愛媛)の動物(1963.7) Speleological Survey in South Korea 地表面気門ダニ集団の生態的研究 | 動物 | A1著書抜刷 |
| 59 | 1964 | THE BLUE-GREEN ALGAE(藍藻)、FLOWER PIGMENTS(花の色素)等についての記事。アメリカの科学雑誌「SCIENTIFIC AMERICAN」1964.6月版。封筒にユレモ、アントシアンのメモ。 | 藻類 | A4雑誌 |
| 60 | 1966.3 | 生駒義博ハンザキの研究報告、氷ノ山国定公園調査、100歳のハンザキ 大山の資料、ハンザキ風土記、津山科学教育博物館、採集と教育、資料目録(1965第16回植樹行事)1966.3、鳥取県海中公園候補地の海藻、手紙(1981.8.26生駒リストの整理) | 動物 | A1著書抜刷 |
| 60 | 1966/5/ | 徳山鏞(てつ)也:蒜山方言植物目録(清明が序文掲載)、友金藤吉:蒜山盆地植物誌。 | 植物 | A1著書抜刷 |
| 61 | 1966 | 西堀幸吉「天然香気成分研究法と最近の展望」ノートルダム清心女子大学時報別刷1966.9 | | A1著書抜刷 |
| 61 | 1966 | 宗田克巳霞浦沿岸の介化石、比島巡検記(1966)、夢、台湾地質べっ見(1973.8)、フィリピンの自然、玉川大学会員便り(1951.6)。岡山県下の天然記念物を清明と共同調査。 | 天然記念物 | A1著書抜刷 |
| 61 | 1967.1 | 室井綽(ひろし)(1914-2012)・佐藤茂樹著「岡山県牛窓町断層地帯層群の調査」(1967.1)、中西哲・室井綽著「岡山県牛窓町八幡宮社叢の群落とフロラ」 | 植物 | A1著書抜刷 |
| 61 | 1966.11 | 笠岡湾干拓事業の実施にともなう天然記念物カブトガニ繁殖地の対策に関する実態調査報告(1966.11)、岡山大学理学部生物学教室川口四郎・弥益輝文共著「二枚の殻をもった囊(のう)舌目ウミウシ:タマノドリガイ」 | 天然記念物 | A1著書抜刷 |
| 61 | 1966 | 丸亀地質説明書(5万分の1地質図)謹呈片山学兄。他に奥津1961、周匝1965、佐用1963、湯本1962、智頭1966、奥津1961、根雨1964 | 地質 | A6地図 |
| 62 | 1968/1/1 | 小野洋「岡山の昆虫」(岡山文庫1968)について調査報告受取り。岡山県下で発見された昆虫(ヤサイゾウムシ)、岡山県で全国的に有名になった昆虫(ニシキキンカメムシ)など。葉書消印確認要。 | 昆虫 | A5手紙 |

表2 情報収集手段Aの詳細

6 - 4

| 年齢 | 西暦 | 事柄 | 分野 | 情報収集の手段 |
|----|-----------|--|-----|---------|
| 62 | 1967.9 | 安江安宣「奥出雲のイワナ―附世界的に見たコギの問題点」(釣の友)。 | 動物 | A1著書抜刷 |
| 62 | 1967 | 安江安宣「関東地方のヤサイゾウムシ」(日本応用動物昆虫学会中国支部会報) | 昆虫 | A1著書抜刷 |
| 62 | 1967 | 山下傳(ひとし)蒐集標品：瀬戸内海産海藻目録(1967.8) | 植物 | A1著書抜刷 |
| 63 | 1969.2 | 植物と自然(1969.2月号)ニュー・サイエンス社 大賀ハス | 植物 | A3会報 |
| 63 | 1969.5 | 鶴藤鹿忠マラヤ・タイ民家の日本民家に及ぼせる影響についての調査研究、台湾の民家、薩南諸島の民家、山陽放送学術文化財団リポート第23号 | | A1著書抜刷 |
| 64 | 1969/7/6 | 武曉(たけさとる)：DNA'S FROM HUMAN HEPATOMA ND GASTRIC CANCER MITOCHONDRIA(ヒト肝癌、胃癌のミトコンドリアDNA) | 医学 | A1著書抜刷 |
| 64 | 1969 | 安江安宣・河田和雄：ダイコンアブラムシの有翅型出現に及ぼす飼育密度、日長時間、環境温度の影響(農学研究別冊) | 昆虫 | A1著書抜刷 |
| 64 | 1969 | 多和和彦(1905.10.14生岡山県の郷土史家)。関西高校郷土研究部「ほこり」9号(1969)"富山城・津島遺跡・島々"、12号(1969)"高粱・成羽" | 郷土史 | A1著書抜刷 |
| 64 | 1969 | 備西の自然1、3(岡山博物同好会関西支部)：会則、会員名簿、ワイル氏病解明した「井戸泰(ゆたか)」(岡山博物史伝) | 博物 | A3会報 |
| 64 | 1969 | 岡山博物史伝1(岡山博物同好会関西支部) | 博物 | A3会報 |
| 64 | 1969 | 岡山県の動物化石(岡山博物同好会関西支部) | 化石 | A3会報 |
| 64 | 1970/3/25 | 操山高等学校・操山論叢第5号「方言に関する考察」 | 民俗 | A3会報 |
| 64 | 1970/4/6 | 早瀬新(津山の淡水魚研究)吉井川産採集の魚類について、〇〇近淡水産魚類目録(津山中学校) S45.4.6付手紙 | 淡水魚 | A1著書抜刷 |
| 65 | 1970/6/13 | 今泉吉典：Description of a New Species of Cervus(鹿) from the Tsushima Islands, Japan with a Revision of the Subgenus Sikabased on Clinal Analysis | 動物 | A1著書抜刷 |
| 65 | 1970/11/ | 岡山樹と草の会「樹と草」創刊(寄稿) | 植物 | A3会報 |
| 65 | 1971/1/1 | 樹と草 | | A3会報 |
| 65 | 1971/3/1 | 樹と草 | | A3会報 |
| 65 | 1970/11/1 | 樹と草(創刊) | | A3会報 |
| 66 | 1971/9/10 | 山本慶一 Nature Study 備讃瀬戸海底の旧象化石 | 動物 | A1著書抜刷 |
| 66 | 1971/6/1 | 樹と草 | | A3会報 |
| 66 | 1971/10/1 | 樹と草 | | A3会報 |
| 66 | 1971/10/2 | 葉書(県庁林政課上野善弘) | | A5手紙 |
| 67 | 1973/3/1 | 岡山県南瀬戸内地域植生調査報告(S48.3月岡山県環境部) | 植生調 | A1著書抜刷 |
| 67 | 1973/3/1 | 現存植生図(岡山県南瀬戸内地域植(S48.3月岡山県環境部) | 植生調 | A1著書抜刷 |
| 67 | 1972 | 地理月報1972.12 | | A4雑誌 |
| 67 | 1973.3 | 吉岡金市：北陸古代製鉄史に関する調査研究(1973.3) 金沢経済大学経済開発研究所 | 製鉄史 | A1著書抜刷 |
| 67 | 1973.1 | 大林秀弥：明治10年代美作地方の消費生活。 | | A1著書抜刷 |
| 67 | 1973/1/13 | 熊野郷土科学研究会「南方熊楠先生小伝Ⅲ」(1973.1.13)、櫻山茂樹：郷土科学No.6「ハナヤスリ」(1973.1.30) | 博物 | A3会報 |

表2 情報収集手段Aの詳細

| 年齢 | 西暦 | 事柄 | 分野 | 情報収集の手段 |
|----|------------|--|-----|---------|
| 68 | 1973/8/31 | 高田真一 Sanicula tuberculataの群落に及ぼす要因の研究(1973.8.31)。吉備高原における潜在自然植生、吉備高原の植物群の保護に関する研究(同)。成羽町立吹屋中学校 | 植物 | A1著書抜刷 |
| 68 | 1973 | 八木繁一「瀬戸内の生物」(1969.7NHK放送)、古照遺跡の植物遺体(1973に愛媛県松山市で確認の4世紀構築生産遺構) | | A1著書抜刷 |
| 68 | 1973 | 尼川大録(1917-2002)筑前大島の植物、福岡県植物目録覚書、福岡県の主な広葉林木検索表(長田武正、吉田博一共著) | 植物 | A1著書抜刷 |
| 69 | 1974.11 | 小島辰三・裕子からの転居通知(岡山市雄町)。関連する会報:こえ(S46.9.26)、岡山の自然(1977.3.5)、みちくさ(1971、1972.2、1973.3) | | A5手紙 |
| 70 | 1975.12 | 黒田祐一(医師1924~2014)。蟲の友の会・日甲虫学会:トビイロカミキリの食痕について(1975.12)、ケブカマルクビカミキリの生態について(1977.10)、ケブカマルクビカミキリ | 昆虫 | A1著書抜刷 |
| 70 | 1975 | RNCエリア情報(1975)、第17回植樹祭(1966愛媛県)冊子(展示動物、植物および鉱物を説明)に、西尾一昭「塩田に生きてきた瀬戸内アッケシソウ」の記事。 | 植物 | A1著書抜刷 |
| 71 | 1976 | 奥田拓男 渋くて渋くないもの-生薬のタンニンについて | 薬草 | A1著書抜刷 |
| 71 | 1976 | 里庄在住仁科博の著作:古里2、3(1976) | | A4雑誌 |
| 71 | 1976/12/18 | 片山虎之介(詳細不明):私の一昨日一題(S51.12.18) | | A1著書抜刷 |
| 71 | 1976 | 瀬戸内観光施設整備地域・土地分類基本調査:玉野、庄原 5万分の1、3万5千分の1地図 | | A6地図 |
| 71 | 1976/7/13 | 新聞記事(阿部山自然研究地の管理人紹介絶滅寸前の貴重な植物を一定の場所に移し積極的に保護、育成する活動。自然愛護協会450人が同調) | | A2新聞 |
| 71 | 1977/1/27 | 新聞記事(自然保護士めざし、破壊ストップのとき)井原市造園業瀬川芳隆(26歳) | | A2新聞 |
| 72 | 1977/7/5 | 岡山市の脇田秀太郎(美術史家)から仏・菩薩についての回答 | | A5手紙 |
| 72 | 1977/9/30 | 黒田嘉一郎(医学者1905-1988;京城帝国大学卒)「平賀石泉について」を保有。岳父・平賀石泉は木彫師であり教育家でもあった(高梁川第34号1977.9.30)。石泉は山脇家の血筋を引き、藤戸寺・佐々木三郎盛綱木彫の作者山脇十二郎は祖父。 | 医学者 | A1著書抜刷 |
| 72 | ?1977/6/26 | 里庄町広末達雄から石仏についての回答(封書) | | A5手紙 |
| 72 | 1977.12 | 蝶の民俗学今井彰(1935~)の問合せをした月刊むし社からの一次回答。平田千之、藤原審爾の名前上がる | 民俗 | A1著書抜刷 |
| 72 | 1978/3/20 | 藤澤普『近世封建交通史の構造的な研究』解説付研究業績・略年譜。森元辰昭近代の加茂、岡山大学日本経済史研究会研究会誌1、岡山県に於ける大地主の資金運用形態の分析、明治7年府県物産表の作成過程について | 経済史 | A1著書抜刷 |
| 72 | 1978.1 | 長沢徹:臨時報告第48号 岡山県農業改良No59紅薄荷(ハッカ)考(S53.10別刷)。 | | A3会報 |
| 74 | 1980.1 | 岡山民俗140号、岡山民俗学会会報112、瀬戸内海付近の民族文献目録 | 民俗 | A3会報 |
| 74 | 1979 | 守屋勝太(岡山大学名誉教授)「日本のトノサマガエルとダルマガエル」(動物と自然1979)、「カエルにおける移植実験」 | 動物 | A1著書抜刷 |

表2 情報収集手段Aの詳細

| 年齢 | 西暦 | 事柄 | 分野 | 情報収集の手段 |
|----|------------|---|-------|---------|
| 75 | 1980 | 安江安宣に関する資料:岡山民俗学会講演(丸木舟の面影を残す諸手舟建造、ダーウィンと大森貝塚、カドミウムと昆虫)収集。 | 民俗 | A2新聞 |
| 75 | 1980 | セッコク交雑種に関する細胞遺伝学的研究(1980) デンドロビウム属の染色体数I. 87種(橋本清美) | 植物 | A1著書抜刷 |
| 75 | 1981/3/1 | 安江安宣博士の略歴(昆虫学)、研究業績目録が手元にある。 | 昆虫 | A1著書抜刷 |
| 75 | 1981.3 | 森原修・安江安宣共著:オオチョウバエの発育に及ぼす温度の影響(農学研究) | 昆虫 | A1著書抜刷 |
| 75 | 1981.3 | 村井保、河田和雄・安江安宣共著:倉敷地方におけるモモアカアブラムシの両性出現(農学研究、別刷) | 昆虫 | A1著書抜刷 |
| 76 | 1981.8 | 生駒義篤:手紙(父生駒義博60年前採集の下等新植物リスト) | | A5手紙 |
| 76 | 1981 | 現代医学博物館展示のパンフレット(口腔、歯の病気、胃や腸の病気を年ごとに展示していく)。 | 医学 | A4雑誌 |
| 76 | 1981 | 花田親兵衛:柵原の八神層植化石、鳥に関連した植物名(1981)、熊山の植物、木の実草の汁(1952.11.10)、花見とサクラ、沖縄の植物に接して(1980.12)、岡山県産有毒植物抄(1981.11) | 植物 | A1著書抜刷 |
| 76 | 1981 | 「湯川秀樹*の愛読書」(*1907-1981、74歳没)。貝塚茂樹(湯川秀樹の兄)が投稿 | 教育(法) | A4雑誌 |
| 76 | 1981.8 | 在野の植物学者・杉本順一(1901-1988)編:静岡県下の植物方言集(遠州の自然別刷)1号1978、2号1979、3号1980 | 植物 | A1著書抜刷 |
| 77 | 1982/11/13 | 教え子からの手紙、航空便 | | A5手紙 |
| 77 | 1982/10/8 | 手紙(阿哲郡哲西町大野、小坂弘)、(井原市東江原町、三宅一喜)、(岡山博物趣味の會)、(岡山市東久米、光畑之彦) | 博物 | A5手紙 |
| 77 | 1983/1/6 | 手紙浅口郡里庄町里見 佐藤他 | | A5手紙 |
| 76 | 1982/5/7 | 手紙西宮市甲子園 渡辺昌平 | | A5手紙 |
| 77 | 1982/12/9 | 手紙北九州市小倉区 小林 | | A5手紙 |
| 77 | 1983/4/22 | 手紙岡山市内山下 日本鳥類保護連盟岡山支部 | | A5手紙 |
| 78 | 1983/9/23 | 手紙神戸市長田区 室井 | | A5手紙 |
| 80 | 1985/7/26 | 教え子からの手紙(写真在中) | | A5手紙 |
| 81 | 1987/3/1 | 百間川遺跡第一次調査概報発行される。 | 文化財 | A1著書抜刷 |
| 82 | 1988.1 | 山陽自動車道建設に伴う発掘調査4本谷遺跡、園井上井遺跡、鍛冶屋遺跡 | | A1著書抜刷 |
| 83 | 1988.12 | 本州四国連絡橋陸上ルート建設に伴う発掘調査Ⅱ(岡山県教育委員会) | 文化財 | A1著書抜刷 |
| | | カトリック生活 芳賀の里 | | A4雑誌 |
| | | クリスマス(キリスト誕生)子供絵本 | | A4雑誌 |
| | | 岡山城史(岡山中学校教諭松本米次郎)、備前岡山城、岡山の回顧、備前国岡山城の図 | | A4雑誌 |
| | | 郷土史家沢井常四郎著作:芸備の荘園(附録 保厨官道 郡郷)、榑崎正員先生伝。 | 郷土史 | A1著書抜刷 |
| | | 備前一宮保勝会のパンフレット。考古自然科学研究圏 日本人全部が知りたがっている桃太郎の伝説と真相。森山白雲より。 | | A4雑誌 |
| | | 荒木祐臣「大嘗會の主基歌より見た備中名勝考(前編)賀陽郡、都宇郡、窪屋郡、下道郡、浅口郡 | 民俗 | A1著書抜刷 |
| | | 吉岡三平(1900 - 1984):祭神のしおり | 郷土史 | A1著書抜刷 |
| | | 高知女子大学 石川重治郎「洞穴昆虫研究」 | 昆虫 | A1著書抜刷 |

里庄町立図書館事業 せいめいさんの菊桜を「キーホルダー」に

令和5年5月20日(土)
里庄町立図書館視聴覚室



昨年度に続き開催した小学校児童対象の事業で、14名の児童が参加した。

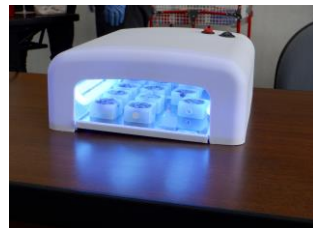
細かい作業となるため、図書館職員2名(司書)・ボランティアの女性グループ6名に佐藤清明資料保存会のメンバーも加わり13名で対応した。

児童の応募多数だったが、施設・用具の都合14名(抽選)での開催となった。

作業は、型(モールド)にレジンを流し入れ、乾燥して整えた菊桜の花を埋め込む。どの花を選び、どの位置に納めるかがポイントになるので児童たちも懸命に取り組んだ。次いで、UVライトを当てレジンを固化させ、半固化の状態でキーホルダー金具の取り付け穴を開け、金具を取り付け完成となる。



その際の①作業中に生じた気泡を取り除く、②菊桜の花を型の中央に置く、③花の埋め込み後、適量のレジンを添えて形を整える、この3点が出来映えを左右する。



ボランティアメンバーは、ほぼマンツーマンで見守りながら、我が子や孫に接するように対応され、高1の男子も仲のよい弟妹のように…。控えめに助言、ときにそっと手を添えるといった役割りに徹しておられたのが印象的でした。



第1回清明を読む会

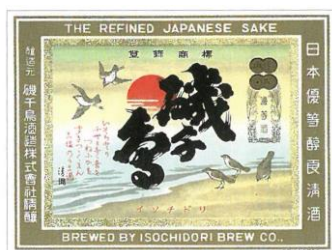
日時；令和5年6月24日(土) 里庄町立図書館視聴覚室
講師：顧問 木下 浩氏（岡山県立博物館学芸員）
主題：「里庄の酒造り」



講師の木下 浩氏

「里庄はかつて備中杜氏と言われた酒造りのプロフェッショナルを生んだ地でした。歴史に埋もれた里庄の備中杜氏たちの姿を掘り起こすことによって、私たちの知らない近代の里庄のもう一つの姿が見えてきます。」と示唆を頂きました。

里庄町域内の酒造業は、江戸中期に興り、大正1年には6軒（正宗酒造・大正酒造・巴酒造・本磯田商店酒造場・仁科酒造場・荒木酒造里庄分工場）の蔵元があり、昭和後期には「磯千鳥（本磯田）・里見鶴（仁科）」の2軒となり、現在では磯千鳥酒造が事業を続けている。



里庄の杜氏（酒蔵での一コマ）

第2回清明を読む会

日時：令和5年8月19日(土) 里庄町立図書館視聴覚室
講師：寺坂 信也氏（奈義町教育委員会生涯学習課副参事）
演題：「医師井戸泰と奈義町の民俗文化財」



講師：寺坂信也氏



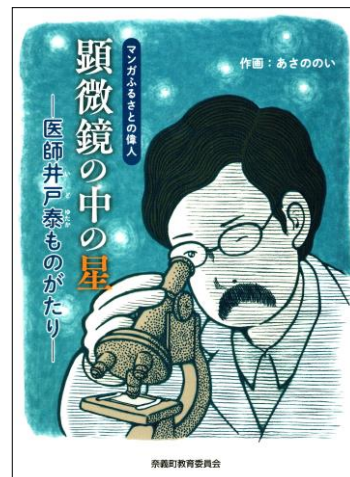
井戸 泰 博士

「井戸泰博士」（写真㊤）は、大正時代、ワイル氏病の研究で高く評価された奈義町出身の医師・細菌学者で、佐藤清明は、『岡山博物史伝1』で井戸泰博士の伝記を書き、博士亡き後も実家のある奈義町に度々訪れ遺族の方々と交流を持ちました

今年3月に奈義町教育委員会が『まんがふるさとの偉人ー顕微鏡の中の星ー医師井戸泰ものがたりー』を出版されました。

メンバー公募による6人からなる「ふるさとゆかりの偉人まんが『井戸泰』制作こども検討会」を組織し、登場人物・セリフ・タイトルにいたるまで子どもたちのアイディアを生かした「公募から制作にいたる過程」のお話や、その中でのご苦労話などについてお聞かせいただきました。

また、寺坂氏が、「井戸泰の資料が少ない中、清明さんの『岡山博物史伝』が非常に参考になった」と仰ったことも心に残りました。加えて、「横仙歌舞伎」「さんぶたろう」など奈義町の民俗文化財についての紹介も頂き、知見が広がりました。



里庄のせいめいさん展

令和5年7月1日～8月30日 里庄町立図書館

① 牧野富太郎からの年賀状



② 「里見八景」を知っていますか?…民俗学分会

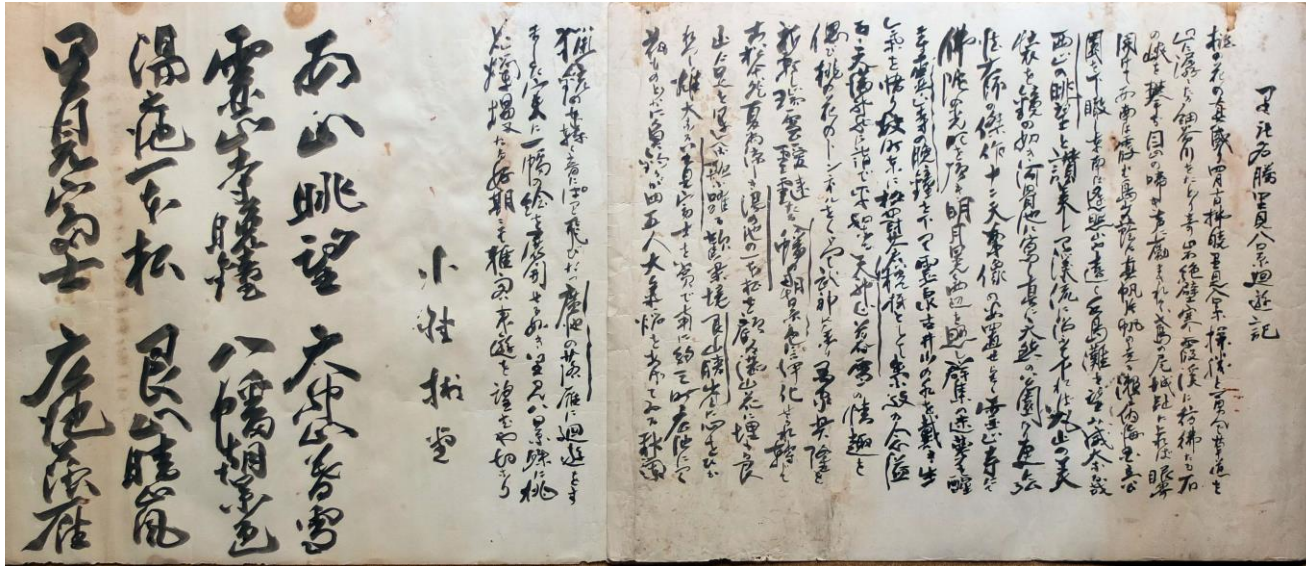
小野拙堂・横溝熊市・佐藤元信の三氏が昭和6年頃、里庄町大字里見の名勝として八景を選んで繪葉書「里見八景」を発行した。選定した里見八景は、横溝熊市氏によって撮影された。

里見八景：西山眺望・天満神社・靈山寺・高岡神社・一本松・良山・里見富士・広池落雁

展示では、繪葉書の写真と90年の時を経た令和5年の今の八景の風景を対比できるように配置し解説が添えられた。その間に、天満神社・高岡神社の正面に石の大鳥居が寄進され、湯の池の一本松は枯死し、はげ山だった西山（虚空蔵山）は、砂防工事による植林や、何度かの山火事を経て、現在は緑豊かな山容となる等々。佇まいは変わっても、今もそこに住む人々とともにある。



里見八景にかかわった 3 人の内の小野拙堂氏が記し、佐藤元信氏が保管していたもので、当時の思いを伝えている。(現在は、佐藤元信氏嫡男・佐藤忠士氏所蔵)
標記勉強会の講師は佐藤忠士氏。演題は「里見八景廻遊記と里見の荒神社」。



里庄名勝里見八景廻遊記

桃の花の真盛り四月十日 沸曉里見八景探勝と勇んで草道を正に潺々たる細谷川をたどり 奇岩絶壁寒霞溪に彷彿たる石の峽を攀ち目白の啼き声に励まされて鶯の尾城址に上れば眼界開けて 西南は霞む島山の蔭に 真帆片帆の走る瀬戸内海国立公園を下瞰し 東南は遥照山や遠く水鳥灘を望み 威大なる哉 **西山の眺望**と讚美しつつ 溪流に沿ふて下れば 尾山の美装を鏡の如き河骨池に寫し 真に天然の公園たり 更に弘法大師の傑作 十二天尊像の 安置せらるる靈山寺にて 佛陀の光明を頂き 明月晃く西辺を照し 群集の迷夢を醒ます **靈山寺の晚鐘**を下つて 靈泉古井川の水を戴き 生氣を悟り 数町東に 鬱蒼様がとして 崇敬の念溢るる天満神社に詣で 平和なる **天神山暮雪**の情趣を 偲び 桃の花のトンネルをくぐり 武神に参り 国家興隆を祈願し 瑞雲靉靄たる **八幡の朝景色**に浄化せられ 縛じて古松卓然 夏尚涼し **湯の池の一本松**を顧み 満山花に埋もる良山に足を運べば 歌う踊る歓楽郷 **良山青嵐**に心をひかれつつ 雄大なる **里見富士**を賞で 南に約三町広池につく花ものどかに 魚釣が四五人 大気焔をあげている 秋菊 獵銃の轟く音に ぱつと飛たつ **廣池の落雁**に 廻遊をすました 実に 一幅の絵を展開せる如き 里見八景 殊に 桃花爛漫たる 好期こそ 雅客来遊を 望むや切なり

小野拙堂

西山眺望 天神山暮雪
靈山寺晚鐘 八幡朝景色
湯之池一本松 良山晴嵐
里見富士 広池落雁

読み下し文：生宗脩一氏

- ※ 細谷川 里庄町役場東の町道沿いを流れる新庄川の支流「清水川」に注ぐ小さな川。
- 草道 谷底を流れる清水川にそって靈山寺方面に至る旧道。
- 西山 里庄東小校歌に謳われる里見地区西に聳える山。現在は虚空蔵山と呼ばれることが多い。
- 桃花爛漫 桃は、昭和 40 年代まで里庄の特産で、春 4 月、丘陵地は全て桃花で埋め尽くされていた。里庄中学校の校歌（旧校歌）の出だしは「くれない匂ふ桃の花・・・」だった。

③ 「1959年撮影の調査現場」(本山寺・甌穴・植物)を今に見る・



…「天然記念物・文化財」分科会

佐藤清明は、1948年岡山県国宝重要美術品史蹟名勝天然記念物調査委員会委員に委嘱され、その後も文化財保護審議会委員として県内600ヶ所にも上る調査に拘わった。

その中、1959年8月23日旧・柵原町(現・美咲町)において、当時の町長・小学校教諭等5名と、本山寺を調査し、併せて同町小瀬地区の吉井川一帯で甌穴の調査と植物の採集を行った。

清明が残したネガフィルムから16コマを選び、新たに撮影したものを対比して展示。

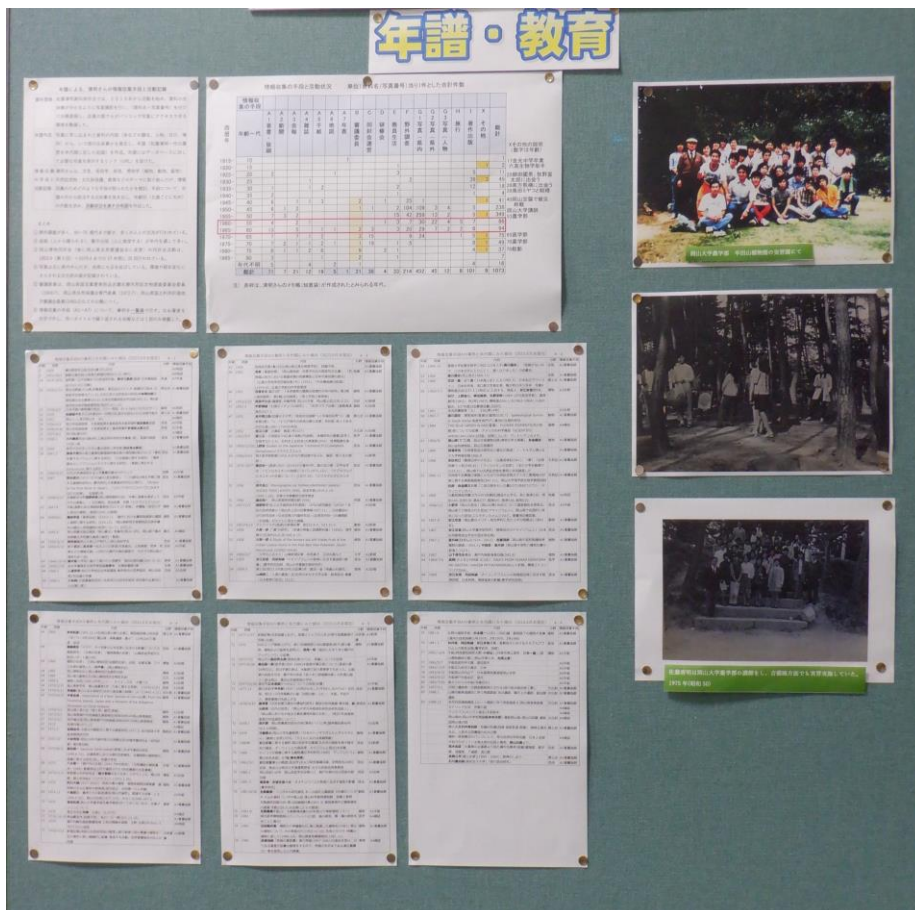
撮影：土岐隆信・稲田多佳子・高橋達雄・佐藤健治

○ この展示内容は、山陽新聞の記者の目にとまり、2023年8月16日付の同紙に掲載された。

見出し：「博物学者・佐藤清明氏(里庄出身)顕彰グループ 甌穴・本山寺写真発見
64年前の旧・柵原町文化財調査」

記事の内容：佐藤清明と調査活動・ネガ発見の経過・佐藤健治理事のコメント

④ 「せいめいさんの情報収集手段と調査項目」…「年譜・教育」分科会



佐藤清明の調査活動について、調査項目毎の情報収集に用いられた手段時系列で整理し「清明を読む会」で発表された内容について精度を高め、再整理し展示。

カラー写真は、岡山大学農学部講師を務めていたとき岡山市植物園で撮影。(撮影年不明)

モノクロームの写真は、同大薬学部講師のとき、吉備路方面での実習時に撮影されたもの。(1975)

○ この展示物は、佐藤清明の調査活動把握の一助として、内容の精査改訂を頂き、本号に「巻頭論考」として掲載。

佐藤清明ゆかりの‘菊桜’を次代に残すための PR 活動

小野 礼子

菊桜育成保存会は令和 4 年度に（公財）福武教育文化振興財団から教育文化活動助成を受けました。提出した報告書を元に昨年度一年間の活動を振り返ります。

(1) 活動の内容及び経過

① ‘菊桜’の開花調査

期間と内容：令和 4 年 4 月 7 日～5 月 14 日

観察場所：里庄町内 4 カ所（清明生家・里庄町歴史民俗資料館・高岡神社・貞利家）

は、開花期に毎日会員で分担し観察して観察記録ノートに記入した。それらをまとめたものを令和 4 年 9 月に図書館で発表し、その観察記録は、ホームページ上で公開している。町外の 10 か所は、会員が複数回訪問して写真撮影した。

② ‘菊桜’写真展

期間：第 1 期/令和 4 年 10 月 1・2・15・16 日

第 2 期/令和 4 年 10 月 17 日～30 日

場所：第 1 期/里庄町歴史民俗資料館玄関ホール

第 2 期/里庄町立図書館 1 階ロビー

内容：令和 4 年 4 月撮影の最新の写真。

③ リーフレット

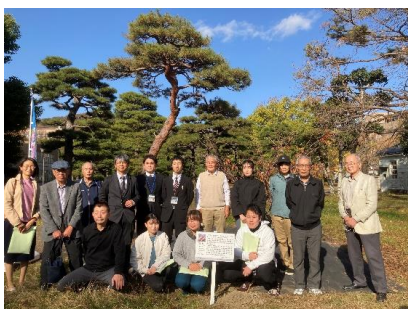
一般用 PR リーフレットを製作し 3,000 部印刷。オールカラーA4 判二つ折り。県内図書館・町内小・中学校・菊桜植栽地などに配布。



リーフレット表側

③ 児童用の PR 冊子

児童用の PR 冊子を作成し、1,400 部印刷。オールカラーB5 判 29 ページ。県内各所と、里庄町内の小学 5 年生～中学 3 年生に配布。



⑤ 岡山大学の‘菊桜’看板更新 令和 4 年 11 月 27 日

⑥ 動画「‘菊桜’のおはなし」令和 5 年 3 月 20 日

YouTube 公開 長さ 10 分、公式インスタグラム開設。

⑦ のぼり W600×H1800 布製カラー 6 本製作。開花時に町内・三徳園(岡山市)に立てた。

(2) 活動の成果・効果

① 活動前 活動を始めて 4 年後の令和 3 年でもまだ‘菊桜’の知名度は低く、植栽地管

理人でも存在を知らないところがあった。会員は地道に‘菊桜’の養生や、写真展などの活動を続けていたが、活動に広がりあまり見られなかった。

② 成果 助成を受けた令和4年度に、上記の活動を一年間切れ目なく行った。

- ・ 冊子の編集・装丁を外部のエディターに依頼したことにより、広い年齢層に受け入れられる読みやすい本邦初の‘菊桜’専門の冊子が出来上がった。
- ・ 今回リーフレットや冊子を作成することになり、‘菊桜’についてより詳しく研究でき、今まで知られていなかった花卉の色の変化や花の仕組みがほぼ解明された。
- ・ 県内の‘菊桜’の調査をすることにより、県内の植栽地の管理者と直接連絡を取り、交流することができた。その結果、里庄町内外に、私たちが把握していなかった多くの場所で‘菊桜’が植栽され、今も大切にされていることが分かった。
- ・ 今後、町内の小学校などに‘菊桜’が植樹される予定。

菊桜の小冊子つくりました！

「岡山県図書館協会会報「岡山のと
しょかん第135号」(2023.9発行)
に掲載」

皆さんは「菊桜」という花をご存知でしょうか？桜の栽培品種の一つで、300枚近くの花弁がつく全国的にもとても珍しく美しい桜です。里庄町立図書館は、7年前から里庄町出身の博物学者佐藤清明（以下清明さん）の業績を顕彰する団体「佐藤清明資料保存会」の事務局をしています。この菊桜は清明さんが特に愛して普及に努めた花です。2017年清明さんが植えた岡山大学構内の菊桜が枯れかけているとの情報が入り、菊桜を救うため佐藤清明資料保存会の有志が集まりました。大学当局の許可を得て養生活動を地道に続けました。この活動をきっかけに、清明さんの遺志を受け継ぎ菊桜の保護・PRを目的とした「菊桜育成保存会」を2年前に立ち上げました。2022年には、福武教育文化振興財団から助成を受け、地域の若い人たちにも菊桜の魅力を知ってもらおうと作ったのが、この小冊子『佐藤清明ゆかりの‘菊桜’』です。

内容は、1章「菊桜のヒミツ」2章「せいめいさんと菊桜」3章「岡山県の菊桜紹介」4章「菊桜育成保存会の活動」の4部構成です。

2章は、清明さんと菊桜の奇跡のストーリーをオリジナルマンガにしました。菊桜の生態について紹介した日本で初めての冊子ではないかと自負しています。2023年4月に岡山県内の公共図書館に配布させていただきます。ぜひご覧ください！

(里庄町立図書館 小野礼子)

佐藤清明ゆかりの‘菊桜’表紙



山陽新聞で、菊桜育成保存会の活動が紹介されました。(掲載承認済み)

特別展会場に並ぶ池田厚子さんゆかりのボンボニエール。皇室を示す菊紋とともに菊桜の意匠があしらわれている(中西弘之撮影)



県立美術館特別展

皇室に代々受け継がれてきた美術工芸品を中心に紹介する岡山県立美術館(岡山市北区天神町)の特別展「美をたどる 皇室と岡山」。名品が美を競う会場で、岡山と皇室の縁を伝えるのが、旧岡山藩主池田家に嫁いだ上皇さまの姉・厚子さん(92)の七五三を祝い製作されたボンボニエール(小さな菓子器)だ。扇形のふたに刻まれた「お印」の菊桜は、実は岡山市にルーツを持つ桜。戦時中には県民らにより市外に「疎開」させられ、今も大切に守り育てられている。(平松隆)

池田厚子さんゆかり菓子器の「お印」

佐藤清明の生家で菊桜を養生する住民グループのメンバー。現在、接ぎ木などで受け継がれた若木が3本ある。



開花した菊桜。直径約5センチの大輪で、花びらは100〜300枚にも及ぶ

菊桜は、御所桜として宮中を彩った八重桜の一種で、中世に途絶えたと言われていた栽培品種。別名「六高菊桜」とい、明治後期に旧制第六高等学校(現岡山山大)の教授だった大渡忠太郎が植木市で発見して校内に植えたのが始まりだった。大渡は、当時「桜博士」と呼ばれた植物学の権威・三好学に鑑定を依頼したところ、絶えたはずの菊桜として認定された。三好は希少な桜として1931(昭和6)

菊桜岡山と皇室結ぶ

六高から里庄へ 住民ら守り育てる

和6)年に皇室に献上。同じ年に厚子さんが生まれ、身の回りの品に付ける「お印」に選ばれたという。「岡山県里庄町の民家の庭で青々と葉を茂らせ、高さ約2メートルまで成長した菊桜に、3人の男女が目を通じた。同町の住民グループ「佐藤清明資料保存会」のメンバーだ。佐藤清明(1905〜98年)は、同町出身の博物学者。朝日高(岡山市)の場所にあった六高に勤務経験があった佐藤は、空襲による菊桜の焼失を恐れ、実家に枝を持ち帰って接ぎ木。栽培と苗木の育成に努めた。六高の菊桜は45年の岡山空襲で失われたが、里庄の苗木は順調に育ち、53年に池田家に嫁いだ厚子さんに贈られたほか、同年に岡山に行幸した昭和天皇の後菜園でのお手植えにも用いられた。近年は、保存会が保護活動を引き継ぎ、里庄町や岡山、倉敷市など県内各地で植栽。来春に岡山市で開かれる全国植樹祭では、皇后さまお手植えの樹種に選ばれている。「皇室と岡山」展で厚子さんのボンボニエールを鑑賞した保存会理事の佐藤健治さん(78)は「1本の木から始まった皇室と岡山との縁をあらためて感じた。展示を機に、皇室と岡山を結ぶ菊桜と佐藤先生の功績を知ってほしい」と話した。特別展は27日まで。21日休館。山陽新聞社など主催。

<編集後記>

新型コロナウイルス感染症の5類移行にもない社会活動の制限が緩和され、会員各位が雪に変わる竹の如く蓄えていたエネルギーを解放して、精力的な活動が再開され、その一端がしばしば新聞で取り上げられて、佐藤清明の人と業績を広く知って頂けることは大変嬉しいことだと思います。

本号では、平常に戻った活動を記録するとともに、せいめいさん展の中から、「年譜・教育分科会」の展示内容を、会員が共有すべき貴重な情報として収録いたしました。収録にあたって内容を精査してくださった関係者の皆様に感謝申し上げます。(会報担当・佐藤泰徳)

佐藤清明顕彰特設サイト



佐藤清明資料保存会会報 No.11

発行日 令和5年11月20日
発行者 佐藤清明資料保存会・里庄町立図書館
会長 加藤泰久(里庄町長) 館長 高田正信
住 所 719-0301 岡山県浅口郡里庄町里見 2621
電 話 0865-64-6016

ホームページ : <http://www.sl.net.town.satosho.okayama.jp>
Eメール : slnet@sl.net.town.satosho.okayama.jp